

MIYAGI UNIVERSITY

令和8年度

## 科目等履修生募集要項

- ◎ 看護学群
- ◎ 事業構想学群
- ◎ 食産業学群
- 大学院看護学研究科
- 大学院事業構想学研究科
- 大学院食産業学研究科



宮城大学

# I 学群・大学院別事項

## 出願資格

### 【学群分（看護学群、事業構想学群、食産業学群共通事項）】

次のいずれかに該当する方とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣の指定がある方
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- (5) 専修学校の高等課程（文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (6) 文部科学大臣の指定した方（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規定による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
- (8) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方

### 【大学院分（看護学研究科、事業構想学研究科、食産業学研究科共通事項）】

#### はじめに

- 1) 宮城大学大学院研究科（博士前期課程）に進学を希望する方は、入学に先行して科目等履修生として大学院研究科の開講科目を履修し、単位を修得すると、その単位を本学大学院研究科入学後の修了要件単位数に換算することができます（10単位まで）。
- 2) 宮城大学大学院研究科（博士前期課程）に進学を希望しない方でも、より専門的な学習を深めたい方は、科目等履修生として大学院研究科の開講科目を履修することができます。
- 3) 1) または2) いずれの場合も、下記の「出願資格」を満たす方が対象となります。

次のいずれかに該当する方とします。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学（以下単に「大学」という。）を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤に規定する文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された方
- (7) 専修学校的専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した方
- (8) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号の規定により文部科学大臣が指定した方
- (9) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において個別の入学資格審査により、所定の単位を優秀な

- 成績で修得したと認めた方  
(10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、22歳に達した方

※上記の(9)又は(10)により出願しようとする方は、入学資格審査が必要となります。詳細については、お問い合わせください。

- ・入学資格審査基準及び審査申請に必要な書類の詳細は5~7ページをご覧ください。
- ・入学資格審査申請期限：【前期】令和8年1月23日（金）  
【後期】令和8年6月 9日（火）
- ・問い合わせ先：【宮城大学事務局教務課教務グループ】  
Tel: 022-377-8364  
E-mail: kyoumu@myu.ac.jp

## II 共通事項

### 1 募集人員

各科目若干名

### 2 出願スケジュール

	前期	後期
入学資格審査申請受付期間	令和8年1月13日（火）～ 令和8年1月23日（金）	令和8年6月 2日（火）～ 令和8年6月 9日（火）
入学資格審査結果通知送付	令和8年2月 2日（月）以降	令和8年6月26日（金）以降
出願期間（必着）	令和8年2月 4日（水）～ 令和8年2月13日（金）	令和8年7月 1日（水）～ 令和8年7月17日（金）
選考結果通知	令和8年3月 6日（金）以降	令和8年8月28日（金）以降
入学手続期間	令和8年3月 9日（月）～ 令和8年3月19日（木）	令和8年8月31日（月）～ 令和8年9月 4日（金）
履修期間（予定） ※科目により初回講義日は異なります	令和8年4月 8日（水）～ 令和8年8月 6日（木）	令和8年9月28日（月）～ 令和9年2月 1日（月）

※前期科目及び後期科目の両方の履修を希望する方は、前期に一括出願してください。

### 3 出願手続

- (1) 次のA~Iの書類をまとめて出願してください。  
A : 宮城大学入学願書〔科目等履修生〕（様式1-1）  
B : 振込金（兼手数料）受取書（振込依頼書）（様式1-2）  
出願期間内に本書で入学者選抜手数料9,800円を振込み後、振込金（兼手数料）受取書（本人保管用として、金融機関から渡されたもの）を出願書類として様式1-1裏面の所定欄に貼ってください。  
C : 身上調書（様式2）  
D : 自己申告書（様式3）  
E : 最終学歴校の調査書又は成績証明書  
F : 最終学歴校の卒業（修了）証明書  
G : 写真（縦4.5cm×横3.5cm 上半身正面無帽、カラー、背景なし）1枚  
（入学願書に貼り付けて提出してください。）  
H : 戸籍謄本（証明書記載の姓が現在の姓と異なる方は提出）  
現在の姓名と各種証明書等の姓名が異なる場合は、戸籍謄本、または戸籍抄本（発行より6か月以内のもの）を提出してください。  
I : 住民票  
①外国人の志願者は出願手続時に住民票を提出してください。（コピーは不可）

- ※出願時点において既に在留カードが交付されている方は、市区町村が発行する住民票（国籍・在留資格が記載されたもの）を提出してください。在留カードの交付を受けていない方は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出してください。
- ②入学金の区分が県内者に該当する場合は、入学手続の案内後に住民票を提出してください。
- J：承諾書（様式4. 該当者のみ提出）  
他の大学等に在学している方は、校長の承諾書を提出してください。
- (2) 出願は、「簡易書留速達」による郵送としてください。
- (3) 上記の期間を過ぎての出願は受理できませんので、出願期間に注意してください。
- (4) 出願書類の特例  
継続履修の場合、最終学歴校の成績証明書及び卒業（修了）証明書については、コピーでの提出も可能です。
- (5) 出願先  
〒981-3298  
宮城県黒川郡大和町学苑1番地1（大和キャンパス）  
宮城大学事務局教務課教務グループ
- (6) 出願上の注意事項  
出願書類がすべてそろっていない場合は、受理できませんので、出願の際には十分確認してください。なお、一度受理した出願書類、入学者選抜手数料は返還しません。
- (7) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学を取り消すことがあります。

#### 4 在学期間

在学期間は令和8年4月（又は10月）から6ヶ月又は1年です。（履修科目による）

##### ※在学期間の延長

引き続きの在学（継続履修）を希望する場合、出願を行い、履修希望科目的開講学群・研究科において認められると、1年内に限り在学期間を延長することができます。この場合の出願において、入学選抜手数料の納付は不要です。

#### 5 選抜方法

科目等履修生の選考は書類審査、面接等により実施します。面接を実施する場合は、別途ご連絡いたします。

開講科目ごとの選抜方法については、別紙「令和8年度科目等履修生開講科目一覧表」を参照願います。

#### 6 選考結果

郵送により志願者全員に発送します。選考結果に関する電話等での問い合わせには応じることができませんので、ご了承ください。

#### 7 入学手続

選考結果通知の際に送付する必要書類等を、郵送又は持参により提出してください。

- ① 入学手続に必要な書類（入学金にかかる振込依頼書等）は、選考結果通知の際、本人あてに郵送します。
- ② 郵送の場合は、必ず「簡易書留速達」としてください。入学手続期間最終日必着とします。
- ③ 直接持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。  
(土曜日・日曜日・祝日は受付を行いません。)
- ④ 必要な書類がすべてそろっていない場合には、受理できませんので、書類提出の際には十分確認してください。
- ⑤ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受理できません。なお、期間内に所定の手続きを行わなかった場合、科目等履修生としての入学を辞退したものとして取り扱われていただきます。
- ⑥ 一度受理した書類及び入学金等は、返還しません。
- ⑦ 入学手続先、場所は選考結果通知の際に連絡します。
- ⑧ 「8 入学金及び授業料」について、「県内者」に該当する場合は、該当者が宮城県内に居住していることを確認するため、住民票等（住民票又は戸籍の附票の写し等）を提出してください。

## 8 入学金及び授業料

種類		金額	納付時期等	※1 入学金について、「県内者」とは次に該当する方をいいます。該当の有無は住民票等で確認します。 本人又はその親族（配偶者又は一親等の直系尊属に限る。）が本人の入学許可の日前1年間引き続き県内に住所を有する場合  ※2 上記以外に、科目により諸経費が必要となる場合があります。
入学金	県内者	28,200円	入学手続時	
	県外者	56,400円	入学手続時	
授業料	14,800円 (1単位当たり)	【前期】 6月1日 【後期】 11月30日		

## 9 履修科目

履修科目は別紙「令和8年度科目等履修生開講科目一覧表」のとおりです。履修科目数に上限はありませんが、時間帯によって履修可能科目が限定（重複）されることがありますので、予め了解願います。

**※開講曜日・時間帯については令和8年1月現在調整中です。変更になる可能性もありますので、事前に宮城大学事務局教務課教務グループ宛てお問合せください。**

【宮城大学事務局教務課教務グループ】

Tel : 022-377-8364

E-mail : kyoumu@myu.ac.jp

## 10 単位認定

単位は、個々の科目について所定の時間を履修し、試験その他の方法により合格と判定されたときに認定します。授業科目、時間数、単位数は本学学群及び大学院の履修規程に定めるところによります。

## 11 その他

本学ではパソコンを使用する科目があります。科目等履修生として合格した場合、選考結果通知及び必要書類と共にノートパソコンの必要スペックの案内を同封しますので、よく確認し、必要に応じて準備してください。

## 12 通学について

徒歩又は公共交通機関、自転車、バイク等により通学してください。

自家用車による通学を希望される方は、入学手続とあわせて申請してください。

【大和キャンパス】

・仙台市営地下鉄

「仙台駅」から約15分、「泉中央駅」下車。バスに乗り換え

・バス利用

「泉中央駅」バスプール3番又は6番から、宮城交通バス「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）で約30～35分、「宮城大学・仙台総合医療大学校前」下車

「仙台駅前」バスプール2番から、宮城交通バス「宮城大学」行きバスで約50分、「宮城大学・仙台総合医療大学校前」下車

【太白キャンパス】

・仙台市営地下鉄

「仙台駅」から約10分、「長町南駅」下車。バスに乗り換え

・バス利用

「長町南駅・太白区役所前」バスプール4番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約20分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

「仙台駅前」バスプール7番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約40分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

【入学資格審査基準】

(1) 宮城大学大学院看護学研究科

区 分	対 象	審 査 基 準
出願資格 (9)		英語学力が、英検準1級、TOEIC550点以上、TOEFL ベーパーベーステスト500点以上又はインターネットベーステスト61点以上の実力を有すること。
本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学に3年以上在学し(入学時までに在学見込みを含む。)、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた方	4年制大学3年次在学者又は過年度に4年制大学3年次を修了している方	<p>〔3年次在学者〕 次のいずれにも該当すること。            ① 大学2年次修了時点で、卒業必要単位数の1/2以上を修得し、その評価について最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが8割以上であること。            ② 大学3年次修了時点で、卒業必要単位数の3/4以上を修得見込みであること。</p> <p>〔過年度に3年次を修了している者〕 大学3年次修了時点で、卒業必要単位数の3/4以上を修得し、その評価について最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが8割以上であること。</p>
本学大学院において、個別の入学資格審査により、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（いずれも入学時までに修了見込み含む。）であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた方	外国の学校教育制度に基づく高等教育機関（大学等）の在学者（通信教育による課程の履修者を含む。）で、当該国における学校教育の16年の課程のうち15年の課程を修了した者（入学時までに修了見込みの者を含む。）	<p>〔15年の課程修了者〕 15年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の3/4以上を修得し、その評価について最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが8割以上であること。</p> <p>〔15年の課程修了見込者〕 次のいずれにも該当すること。            ① 14年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の1/2以上を修得し、その評価について、最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが、8割以上であること。            ② 15年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の3/4以上を修得見込みであること。</p> <p>〔15年の課程修了者〕 15年の課程修了に必要な単位として修得した単位の評価について、最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが、8割以上であること。</p> <p>〔15年の課程修了見込者〕 14年の課程修了時点で、15年の課程修了に必要な単位の3/4以上を修得し、その評価について最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが8割以上であること。</p>
出願資格 (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達した方	出願資格 (1)～(9) 以外の方  新旧学校制度の移行に際し、法令上明確に規定することの困難な旧制度の学校卒業者等	<p>〔資格保有者〕 次の①、②いずれにも該当すること。            ① 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等を卒業していること。            ② 看護師、保健師、助産師のうち1つ以上の資格を有していること。</p> <p>個別に判断する。</p>

(2) 宮城大学大学院事業構想学研究科・食産業学研究科

区分	対象	換算方法等	換算方法等	備考
出願資格(9) 大学に3年以上在学し（入学時までに在学見込み含む。）、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた方	4年制大学3年次 在学生及び過年度において4年制大学在学3年次を修了している方	① 大学2年次修了時点で、68単位以上修得し、かつ、その評価について、最上位であるものの割合が85%以上であること ② 大学3年次修了時点で、卒業必要単位として102単位以上修得又は修得見込みであること ③ 過年度に大学3年次を修了している者については、②による評価について、最上位であるものの割合が、85%以上あること	修得単位の成績について、評価が数値である場合は、次の基準により判定することとする。 ① 最上位評価 • 100点満点換算で80点以上のもの ② 修得単位として認めないもの • 100点満点換算で60点に満たないもの	
出願資格(9) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国における15年の課程を修了し、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し（いずれも入学時までに修了見込み含む。）、本学大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた方	外国の学校教育制度に基づく高等教育機関（大学等）の教育課程修了者又は外国の学校が行う通信教育を我が国で履修した事による修了者（いずれも入学時まで修了見込みの者を含む）で、当該教育課程が15年の方  外国の学校教育制度に基づく高等教育機関（大学等）の在学生（通信教育による課程の履修生を含む。）で、当該国における学校教育の16年の課程のうち、15年の課程を修了又は入学時までに修了見込みのもの	① 修了者については、高等教育機関（大学等。通信教育による課程を含む。）修了に必要な単位として修得した単位の評価について、最上位であるものの割合が85%以上であること ② 修了見込みの者については、14年の課程修了時点で、高等教育機関（大学等。通信教育による課程を含む。）を修了するために必要な単位の80%以上を修得し、かつその評価について最上位であるものの割合が85%以上であること ③ 14年の課程修了時点で、高等教育機関（大学等。通信教育による課程を含む。）修了に必要な単位として修得した単位の評価について最上位であるものの割合が85%以上であること ④ 15年の課程修了時点で、高等教育機関（大学等。通信教育による課程を含む。）修了に必要な単位の80%以上を修得又は修得見込みであること ⑤ 過年度に15年の課程を修了している者については、②による評価について、最上位であるものの割合が85%以上であること	修得単位の成績について、評価が数値である場合は、次の基準により判定することとする。 ① 最上位評価 • 100点満点換算で80点以上のもの ② 修得単位として認めないもの • 100点満点換算で60点に満たないもの	本区分において認定基準を満たさない者について、研究歴等の加算による出願資格(10)での出願資格認定を妨げない
出願資格(10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達した方	学校教育法に定める学士の学位を授与されていない者（出願資格(8)及び学士の学位取得見込み者を除く。）  新旧学校制度の移行に際し、法令上明確に規定することの困難な旧制度の学校卒業者等	① 16年から最終学歴までの修業年数（中退の場合は、中退時の前年度に在籍した学年までの修業年数とする。以下同じ。）を控除した年数を大学、短大、官公庁、研究所又は民間企業等において、教育又は研究部門で教育職又は研究職に従事した者 ② 大学等において、科目等履修生として、修得した単位について、34単位ごとに大学在学1年と換算し、16年から最終学歴までの修業年数を当該換算年数で充足した者 ③ 有職者で在職中に各種教育機関における研修歴がある場合は、研修時間15時間を1単位として、34単位ごとに大学在学1年と換算し、16年から最終学歴までの修業年数を当該換算年数で充足した者 ④ 修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす専修学校の専門課程を文部科学大臣が指定する日以前に修了した者 ⑤ 実務経験・業績等をもって認定する者については、個別に判断する	① 研究従事は大学及び短大又は高等専門学校の専攻科等における研究生を含む。 ①～③ • 期間の計算は年単位とし、1年に満たない月数は切り捨てるものとする。 • 16年から最終学歴までの修業年数を控除した年数の充足は、①～③の年数の合算によるものを妨げない。	大学修了までの学校教育における課程が16年に満たない国において大学の課程を修了した者のうち、中国の教育課程出身者で期間が不足する場合の不足期間は1年とする。
各出願資格共通事項	各区分ごとの認定基準以外の経歴・業績等を有する方	上記認定基準に加え、優れた業績、取得資格等がある場合は、個別に判断し、認定基準を緩和又は認定基準充足に換算することもあり得る。	認定基準緩和又は換算方法については、個別に判断する。	本区分において認定基準を満たさない者について、研究歴等の加算による出願資格(9)上段での出願資格認定を妨げない。ただし、この場合において、法令上明確に規定できる旧制度の学校を最終学歴と見なす。

【入学資格審査申請書類】

入学資格審査申請書	本学様式 A票	
履歴書	本学様式 B票	
自己申告書	本学様式 C票	
業績一覧	本学様式 D票	
入学資格認定 基準に係る証 明書類	成績証明書	
	卒業（見込）証明書	
	免許の写し	各資格免許のもの
戸籍抄本	証明書類の姓名が現在の姓名と異なる場合に提出	

※ 入学資格審査申請を行う方は、上表の書類を取りそろえ、

【前期】令和8年1月23日（金）

【後期】令和8年6月 9日（火）までに

申請すること。

※ 入学資格審査申請に必要な本学様式 A～D 票については、本学ウェブサイト (<http://www.myu.ac.jp/>) からダウンロードすることができます。

※ ダウンロードした様式にPC等で入力が可能ですが、紙媒体での提出をお願いします。

## 令和8年度 宮城大学入学願書 [科目等履修生]

フリガナ				(写真貼付欄) 最近3か月以内 に撮影したもの を貼付すること	
志願者 氏名	男 女				
生年月日	昭和・平成・西暦	年	月		日
職業					
最終学歴					
現住所	郵便番号	—	電話番号 ( )	—	
連絡先	郵便番号	—	電話番号 ( )	—	
	E-mail アドレス			@	
*以下は外国人の志願者のみ記入すること					
国籍			在留資格		
在留期間					

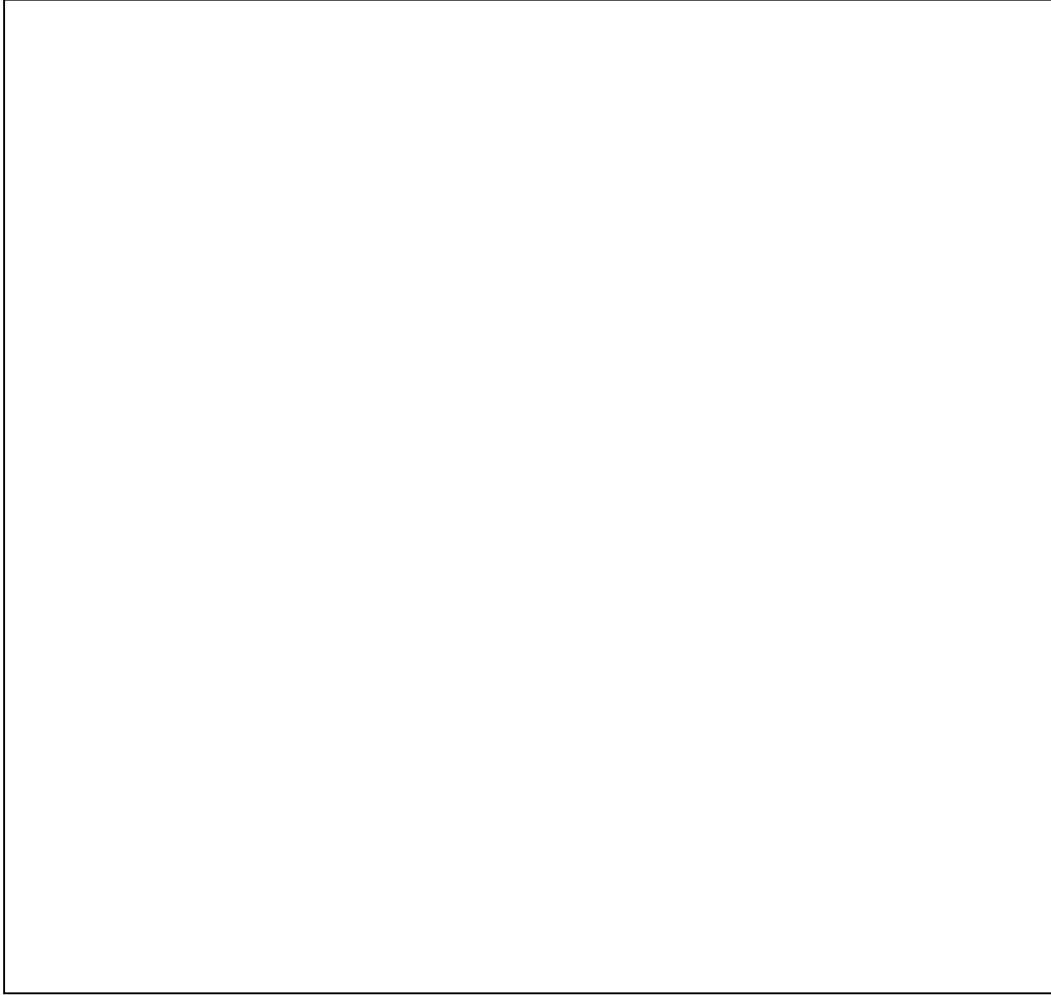
【事務局記載  新規  継続】

履修希望科目（希望する科目を別表より漏れなく転記するほか、学群分・大学院分いずれかの該当する区分を○で囲んでください。）

希望科目	単位数	曜日	時限	担当教員氏名
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				

(注) 履修希望科目が5科目以上の場合は、この用紙をコピーして記入してください。

●科目等履修生入学者選抜手数料「振込金（兼手数料）受取書」貼付



官城大学・宮城大学大学院 入学選抜手数料振込依頼書

【前期】令和8年2月4日(水)～2月13日(金)  
振込期間

【後期】令和8年7月1日(水)～7月17日(金)

<注意事項>

- 必ず下記振込依頼書によりお振込みください。  
振込手数料は、各自ご負担ください。  
ATM（現金自動受取機）は使用しないでください。

### 振込金(兼手数料)受取書

ご依頼日	令和 年 月 日 百万 千	9,800円
金額	先方銀行 七十七銀行 東京支店	
受取人	預金種目 普通	口座番号 9168281
なまえ	公立大学法人 宮城大学	
ご依頼人	フリガナ 氏名	様
備考	※希望する学群又は研究科を記入してください。	
	学群	研究科
	手数料	円
	千	
	万	
	円	
	上記の金額正に受取りました。 (取扱店)	
	銀行 店	
	収入 印紙	

(取扱店→ご依頼人)

金  
部

〈問い合わせ先〉  
宮城大学事務局教務課教務グループ 電話:022-377-8364

公立大学法人宮城大學

選拔手數料納付

樣式 1 – 2

(取扱店保管)

१०

十一

令和8年度 科目等履修生

## 身 上 調 書

フリガナ 氏名		生年月日	昭和 平成 年 月 日 西暦
学歴			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
職歴			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
その他			
年 月			
年 月			
年 月			

(注) 学歴欄は、中学校卒業からすべての入学、卒業を記入すること。

令和8年度 科目等履修生

## 自己申告書

あなたが本科目を志願した理由等を志願者本人が自筆で記入してください。

希望科目名：\_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

令和8年度 科目等履修生

## 自己申告書

あなたが本科目を志願した理由等を志願者本人が自筆で記入してください。

希望科目名：\_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

(注) 希望科目が3科目以上の場合は、この票をコピーの上、記入、提出してください。

令和 8 年度 科目等履修生

## 承 諾 書

宮城大学長 殿

住 所

学 校 名

学 校 長

印

[大学担当部署]

下記学生が、宮城大学科目等履修生として貴校へ在学することを承諾します。

記

令和 年 月 日

住 所

志願者氏名

学籍番号

## 令和8年度 科目等履修生 開講科目一覧表

※シラバスは本学ウェブサイト (<http://www.myu.ac.jp/>) からも見ることができます。

(「一般・地域の方へ」→「科目等履修生」→「出願資格・開講科目等」→「シラバス」)

開講科目
(大和キャンパス) 前期：令和8年4月8日～令和8年8月6日 後期：令和8年9月28日～令和9年2月1日（予定）
(太白キャンパス) 前期：令和8年4月8日～令和8年8月6日 後期：令和8年9月28日～令和9年2月1日（予定）

### ◆大和キャンパス提供科目

(看護学群、事業構想学群、大学院看護学研究科(前期課程)、事業構想学研究科(前期課程))

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
<b>看護学群（専門教育科目）</b>							
1	人間発達学	2	平泉 拓	前期	水1	書類	
1	医療倫理学	2	菅原 よしえ（伊藤 道哉）	前期	火4	書類	
1	形態機能学Ⅰ	1	武田 和久	前期	火5	書類	
1	形態機能学Ⅱ	1	風間 逸郎	前期	月3	書類	
1	看護学原論	2	竹本 由香里	前期	火2	書類	
2	保健行動科学	2	平泉 拓	前期	火3	書類	
2	社会福祉学	2	菅原 よしえ（元村 智明）	前期	木2	書類	
2	学校保健論	2	金野 智津	前期	水4	書類	
2	病態学	2	武田 和久	前期	火1	書類	
2	疾病論Ⅰ	1	風間 逸郎	前期	水2	書類	
2	疾病論Ⅱ	1	風間 逸郎	前期	火2	書類	
2	看護情報学Ⅰ	1	萩原 潤	前期	金1	書類	
2	ライフケース看護学概論Ⅱ	2	谷津 裕子	前期	金4	書類	遠隔での講義に対応できること。一部日程変更に対応できること
2	地域看護学概論	2	高橋 和子	前期	木1	書類	グループワーク、演習に参加できること。遠隔講義に対応できること。
2	成人看護援助論Ⅰ	2	菅原 よしえ	前期	木3	書類	
2	老年看護援助論Ⅰ	2	内海 史子	前期	木4	書類	グループワーク、演習、遠隔での講義に対応できること。
3	保健医療福祉行政論	2	高橋 和子（吉田 裕人）	前期	月5	書類	遠隔での講義に対応できること。
3	リハビリテーションケア論	2	齊藤 奈緒	前期	火1	書類	一部遠隔での講義に対応できること。
3	母性看護援助論Ⅱ	2	谷津 裕子	前期	木3	書類	グループワーク、演習、遠隔での講義に対応できること。一部日程変更に対応できること。
3	小児看護援助論Ⅱ	2	名古屋 祐子	前期	金3	書類	グループワーク・演習・遠隔での講義に対応できること。一部日程変更に対応できること。
3	成人看護援助論Ⅲ	2	菅原 加奈子	前期	金4	書類	技術演習に参加できること。日程変更に対応できること。
3	成人看護援助論Ⅳ	2	菅原 亜希	前期	月4	書類	
3	老年看護援助論Ⅱ	2	沢田 淳子	前期	火5	書類	グループワーク、演習、遠隔での講義に対応できること。
3	精神看護援助論Ⅱ	2	高橋 葉子	前期	木2	書類	演習やグループワークに参加できること。日程変更および遠隔講義に対応できること。
3	地域看護援助論	2	坂東 志乃	前期	火3	書類	演習に参加できること。日程変更ならびに遠隔講義に対応できること。
3	看護マネジメントⅠ	2	木村 三香	前期	月3	書類	演習あり。日程変更および遠隔授業に対応できること。事前課題・事後課題に対応できること。
3	在宅看護援助論Ⅱ	2	千葉 洋子	前期	火2	書類	看護過程演習、グループワーク、遠隔での講義、事後課題に対応できること。
3	公衆衛生看護援助論Ⅰ	2	江角 伸吾	前期	水2	書類	
3	公衆衛生看護援助論Ⅱ	2	江角 伸吾	前期	集中	書類	グループワークに参加できること。
4	応用看護情報学	1	萩原 潤	前期	水5	書類	
4	看護学研究法	2	齊藤 奈緒	前期	集中	書類	4～5月中旬に集中開講（3～4コマ/週）に参加できること。
4	国際比較看護論	2	小松 容子	前期	水3・4	書類	学外演習に参加できること。日程変更に対応できること。
4	クリティカルケア論	1	齊藤 奈緒	前期	集中	書類	グループワーク、シミュレーション演習に参加できること。4～5月中旬に集中した指定日開講に対応できること。
4	救急・災害看護論	2	霜山 真	前期	火4	書類	
4	看護マネジメントⅡ	2	木村 三香	前期	木1	書類	演習あり。日程変更および遠隔授業に対応できること。事前課題・事後課題に対応できること。
4	緩和ケア論	1	菅原 よしえ	前期	月2	書類	日程の変更に対応できること。
4	統合医療	2	菅原 よしえ	前期	集中	書類	日程の変更に対応できること。

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
看護学群（専門教育科目）							
1	臨床心理学	2	平泉 拓	後期	月3	書類	
1	人間関係論	2	沼山 博	後期	月4	書類	
1	形態機能学III	1	武田 和久	後期	火4	書類	
1	薬理学	2	武田 和久	後期	水1	書類	
1	公衆衛生学	2	萩原 潤	後期	金2	書類	
1	ライフステージ看護学概論Ⅰ	2	三上 千佳子	後期	火3	書類	
1	災害活動論	2	高橋 和子	後期	月5	書類	事前・事後学習、レポート課題の対応と、グループワーク、演習への参加ができること。演習の際の日程変更、遠隔講義に対応できること。
1	看護技術論	2	竹本 由香里	後期	木1	書類	事前・事後課題を行ったうえでグループワーク、演習に参加できること。演習の際の日程変更に対応できること。
2	栄養学	2	菅原 よしえ（星 清子）	後期	水2	書類	
2	疫学Ⅰ	2	萩原 潤	後期	月2	書類	
2	疾病論III	1	風間 逸郎	後期	水5/金3	書類	
2	看護情報学Ⅱ	1	萩原 潤	後期	木4	書類	
2	家族看護論	2	小松 容子	後期	月4	書類	
2	看護英語	1	小松 容子	後期	水1	書類	日程変更に対応できること。学外演習に参加できること。
2	母性看護援助論Ⅰ	2	谷津 裕子	後期	火2	書類	グループワーク・演習・遠隔での講義に対応できること。一部日程変更に対応できること。
2	小児看護援助論Ⅰ	2	三上 千佳子	後期	金4	書類	演習に参加できること。日程変更ならびに遠隔講義に対応できること。
2	精神看護援助論Ⅰ	2	小松 容子	後期	月3	書類	
2	在宅看護援助論Ⅰ	2	花里 陽子	後期	金5	書類	グループワーク、遠隔での講義に対応できること。レポート課題、事前課題・事後課題に対応できること。
2	公衆衛生看護学原論	2	江角 伸吾	後期	火4	書類	グループワークに参加できること。日程変更ならびに遠隔講義に対応できること。
4	疫学Ⅱ	2	萩原 潤	後期	火3	書類	
4	災害看護支援論	2	霜山 真	後期	集中	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
看護学群（教職に関連する科目）							
2	養護概説	2	金野 智津	後期	木2	書類	
3	健康相談活動	2	金野 智津	前期	月1	書類	
3	教職論	2	後藤 篤	前期	木1	書類	
4	教育の方法	2	沼山 博	前期	月3	書類	
2	教育学概論	2	後藤 篤	前期	金2	書類	
2	教育心理学	2	沼山 博	前期	木5	書類	
2	教育課程論	2	後藤 篤	後期	金2	書類	
2	教育相談の基礎と方法	2	沼山 博	後期	火5	書類	
4	特別支援教育	1	後藤 篤（和 史朗）	前期	火2	書類	

開講年次	科目名	カテゴリー分類	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
<b>事業構想学群（学類共通科目）</b>								
1	価値創造デザイン基礎		1	価値創造デザイン学類長	後期	金1	書類	
1	事業プランニング基礎		1	事業プランニング学類長	後期	金1	書類	
1	地域創生基礎		1	地域創生学類長	後期	木2	書類	
1	地域活性化とビジネス		1	地域創生学類長	後期	木2	書類	

開講年次	科目名	カテゴリー分類	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
<b>事業構想学群（専門科目）</b>								
2	スタートアップ経営論		2	高山 純人	後期	木1	書類	
2	マーケティング		2	高山 純人	後期	火3	書類	
3	ビジネスプロセス論		2	辻田 一夫	後期	月3	書類	
2	経営組織論		2	櫻木 晃裕	後期	木3	書類	
2	財務会計		2	内田 直仁	後期	金3	書類	
2	ウェルビーイングデザイン		2	齊藤 祐輔	集中	金3	書類	
2	環境地理学		2	高橋 信人	後期	月1	書類	
2	公共経営		2	上森 貞行	後期	火4	書類	
2	コミュニティビジネス		2	宮崎 義久	後期	火5	書類	
2	地域分析学		2	石内 鉄平	後期	火2	書類	
2	都市計画		2	石内 鉄平	後期	火1	書類	
2	地域資源論		2	佐々木 秀之	後期	木5	書類	
2	地域社会学		2	藤澤 由和	後期	木4	書類	
3	コモンズデザイン論		2	宮崎 義久	前期	火5	書類	
3	地理情報分析		2	高橋 信人	前期	木3	書類	
3	社会起業論		2	佐々木 秀之	前期	木5	書類	
3	景観工学		2	小沢 晴司	後期	火2	書類	
3	ソーシャル・キャピタル		2	藤澤 由和	後期	木5	書類	
3	水土環境技術		2	千葉 克己	後期	木4	書類	
2	情報と環境		2	藤苗 耕司	前期	木2	書類	
2	色彩と形態		2	佐藤 宏樹	前期	金2	書類	
2	素材と加工		2	土岐 謙次	後期	月1	書類	
3	プロジェクトマネジメント		2	須栗 裕樹	前期	金4	書類	
3	デザインマネジメント		2	益山 詠夢	後期	火1	書類	
2	インテリアデザイン		2	伊藤 真市	前期	月1	書類	
2	プロダクトデザイン		2	益山 詠夢	後期	金3	書類	
3	感性デザイン評価法		2	茅原 拓朗	前期	月5	書類	
2	メディアプログラミング		2	佐藤 宏樹	前期	木5	書類	
2	コンピュータアルゴリズム		2	太田 賢	後期	火5	書類	
2	ウェブプログラミング		2	長崎 智宏	後期	月3	書類	
2	フィジカルコンピューティング		2	須栗 裕樹	後期	金2	書類	
2	ユーザビリティ		2	茅原 拓朗	後期	木2・3	書類	
3	コンピュータグラフィックス		2	藤苗 耕司	前期	火2	書類	
3	情報システムデザイン		2	太田 賢	前期	木3	書類	
3	人工知能とデザイン		2	太田 賢	後期	月4	書類	
3	空間情報コンピューティング		2	藤苗 耕司	後期	火5	書類	
3	音響・映像デザイン		2	茅原 拓朗	後期	金4・金5	書類	
3	情報サービスデザイン		2	須栗 裕樹	後期	火4	書類	
2	建築概論		2	平岡 善浩	前期	木3	書類	
2	建築史		2	平岡 善浩	前期	金1	書類	
2	都市と文化		2	小地沢 将之	前期	火1	書類	
2	建築計画		2	永井 秀幸	後期	木5	書類	
3	環境心理・行動学		2	本江 正茂	前期	火1	書類	
3	材料学		2	平岡 善浩	前期	金2	書類	
3	IoT建築論		2	本江 正茂	前期	火2	書類	
3	地区・街区計画		2	小地沢 将之	後期	火3	書類	
4	ファシリティマネジメント		2	永井 秀幸	前期	木1	書類	
4	サステナブルデザイン		2	小地沢 将之	前期	月5	書類	
4	スマートシティ論		2	本江 正茂	前期	火3	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
<b>大学院 看護学研究科（博士前期課程）</b>							
1	看護管理学特論Ⅰ	2	金子 サヨリ	前期	火2	書類	看護師免許を有し、講義日時の変更に対応できる方（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	成人健康看護学特論	2	齊藤 奈緒	前期	木1	面接	看護師免許を有し、臨床看護に関心があり、講義日時の変更に対応できる方。（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	がん病態生理学	2	武田 和久	前期	月5	書類	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護学特論Ⅰ	2	菅原 よしえ	前期	金1	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護学特論Ⅱ	2	菅原 よしえ	前期	金2	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護援助論Ⅰ	2	菅原 よしえ	前期	金3	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護学演習Ⅰ	2	菅原 よしえ	前期	集中	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	精神健康看護学特論	2	小松 容子	前期	金2	書類	講義日時の変更ならびに遠隔講義に対応できること。
1	老年健康看護学特論Ⅰ	2	沢田 淳子	前期	木5	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	老年健康看護学特論Ⅱ	2	沢田 淳子	前期	木2	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	地域健康看護学特論Ⅰ	2	江角 伸吾	前期	木5	面接	看護師免許を有し、地域看護に関心があり、講義日時の変更に対応できる方。COVID-19等の影響で遠隔講義となった場合も対応できる方。
1	在宅健康看護学特論Ⅰ	2	高橋 和子	前期	月1	書類	看護師免許を有し、在宅看護に関心がある方。wifi等遠隔授業の準備や日程変更に対応できること。
1	在宅健康看護援助論Ⅰ	2	高橋 和子	前期	金6	書類	看護師免許を有し、在宅看護に関心がある方。wifi等遠隔授業の準備や日程変更に対応できること。
1	看護理論	2	谷津 裕子	前期	金5	書類	
1	看護研究特論	2	高橋 和子	前期	木4	書類	看護研究の基礎を学んだことがあり、看護研究を行ったことがある方。wifi等遠隔授業の準備や授業日程の変更に対応できること。
1	コンサルテーション論	2	菅原 よしえ	前期	木1	面接	授業日の日程変更に対応できること
1	看護倫理	2	菅原 加奈子	前期	火5	面接	授業日の日程変更に対応できること
1	看護教育学	2	竹本 由香里	前期	木6	面接	授業日の日程変更に対応できること
1	病態生理学	2	風間 逸郎	前期	火4	書類	
1	臨床薬理学	2	武田 和久	前期	木3	書類	
1	人間関係情報処理論	2	沼山 博	前期	火4	書類	
1	医療経済学	2	金子 サヨリ	前期	集中	書類	授業日の日程変更に対応できること。パソコンやwifi等遠隔授業の準備が必要。
1	疫学統計	2	萩原 潤	前期	金4	書類	授業日の日程変更に対応できること
開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
<b>大学院 看護学研究科（博士前期課程）</b>							
1	看護管理学特論Ⅱ	2	金子 サヨリ	後期	火2	書類	看護師免許を有し、講義日時の変更に対応できる方（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	成人健康看護援助論	2	齊藤 奈緒	後期	木6	面接	看護師免許を有し、臨床看護に関心があり、講義日時の変更に対応できる方。成人健康看護学特論を受講していることが望ましいが必須要件ではない。（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	がん看護援助論Ⅱ	2	菅原 よしえ	後期	金2	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護学演習Ⅱ	2	菅原 よしえ	後期	集中	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	精神健康看護援助論	2	高橋 葉子	後期	月2	書類	講義日時の変更ならびに遠隔講義に対応できること。
1	老年医療学	2	沢田 淳子	後期	月6	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	老年健康看護援助論Ⅰ	2	沢田 淳子	後期	木4	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	老年健康看護援助論Ⅱ	2	沢田 淳子	後期	木5	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方（要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備）
1	母性健康看護援助論	2	谷津 裕子	後期	火5	書類	講義日時の変更ならびに遠隔講義に対応できること。
1	在宅健康看護学特論Ⅱ	2	高橋 和子	後期	火6	書類	在宅健康看護学特論Ⅰを受講した方。wifi等の遠隔授業の準備や日程変更に対応できること。
1	在宅健康看護援助論Ⅱ	2	高橋 和子	後期	金6	書類	看護師免許を有し、在宅看護に関心がある方。wifi等遠隔授業の準備や日程変更に対応できること。
1	看護研究方法特論	2	齊藤 奈緒	後期	月5	面接	看護研究特論を受講した方が望ましい。授業日程の変更に対応できること。
1	看護政策論	2	江角 伸吾	後期	金6	書類	授業日の日程変更に対応できること
1	保健情報学	2	萩原 潤	後期	火1	書類	授業日の日程変更に対応できること演習を行うため、PCを持参できること
1	保健行動科学特論	2	平泉 拓	後期	火3	書類	
開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
<b>大学院 看護学研究科（博士前期課程）</b>							
1	がん看護学実習Ⅰ	4	菅原 よしえ	集中	集中	面接	看護師免許を有し、がん看護専門看護師をめざしている方。
2	がん看護学実習Ⅱ	3	菅原 よしえ	集中	集中	面接	看護師免許を有し、がん看護専門看護師をめざしている方。
2	がん看護学実習Ⅲ	3	菅原 よしえ	集中	集中	面接	看護師免許を有し、がん看護専門看護師をめざしている方。
1	老年健康看護学実習Ⅰ	4	沢田 淳子	集中	集中	面接	看護師免許を有し、老人看護専門看護師をめざしている方。
1	老年健康看護学実習Ⅱ	3	沢田 淳子	集中	集中	面接	看護師免許を有し、老人看護専門看護師をめざしている方。
1	老年健康看護学実習Ⅲ	3	沢田 淳子	集中	集中	面接	看護師免許を有し、老人看護専門看護師をめざしている方。

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講 時期	時限	選考 方法	履修条件
大学院 事業構想学研究科（前期課程）							
1・2	マネジメント	2	櫻木 晃裕	前期	木 2	書類	
1・2	ファイナンス	2	浅沼 大樹	前期	集中	書類	
1・2	マーケティング	2	高山 純人	前期	火 3	書類	
1・2	経済システム	2	金子 浩一	後期	火 5	書類	
1・2	医療福祉システム	2	糟谷 昌志	前期	木 3	書類	
1・2	サービスサイエンス	2	瀧田 一夫	前期	月 5	書類	
1・2	税法Ⅰ	2	内田 直仁	前期	集中	書類	
1・2	地域創生政策	2	上森 貞行	後期	火 2	書類	
1・2	地域開発政策	2	佐々木 秀之	前期	火 4	書類	
1・2	地域経済分析	2	小沢 晴司	前期	木 3	書類	
1・2	地域情報分析	2	高橋 信人	前期	火 2	書類	
1・2	ソーシャルキャピタル	2	藤澤 由和	前期	木 5	書類	
1・2	地域環境システム	2	石内 鉄平	後期	火 3	書類	
1・2	地域と食農	2	千葉 克己	前期	火 5	書類	
1・2	地域経済デザイン	2	宮崎 義久	後期	木 5	書類	
1・2	防災マネジメント	2	中沢 峻	前期	火 3	書類	
1・2	スペキュラティブデザイン	2	中田 千彦	前期	木 1	書類	
1・2	デザインマネジメント	2	益山 詠夢	後期	火 2	書類	
1・2	地域計画	2	小地沢 将之	前期	月 3	書類	
1・2	素材・造形デザイン	2	土岐 謙次	前期	火 2	書類	
1・2	空間活用事業	2	平岡 善浩	前期	火 1	書類	
1・2	建築プログラミング	2	永井 秀幸	後期	火 3	書類	
1・2	ブレイスマエキング	2	友渕 貴之	後期	木 4	書類	
1・2	知能メディアデザイン	2	太田 賢	後期	月 1	書類	
1・2	感性情報アナリシス	2	茅原 拓朗	後期	月 3	書類	
1・2	感性メディアデザイン	2	長崎 智宏	前期	木 2	書類	
1・2	インターラクションデザイン	2	佐藤 宏樹	後期	月 5	書類	
1・2	空間メディアシステム	2	蒔苗 耕司	前期	木 4	書類	
1・2	情報システムデザイン	2	須栗 裕樹	後期	木 1	書類	
1・2	教育メディアデザイン	2	薄井 洋子	前期	月 4	書類	

※全ての科目において日程変更に対応できること。

◆太白キャンパス提供科目

(食産業学群、大学院食産業学研究科 (前期課程)

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
食産業学群 (専門科目)							
2	生化学	2	金内 誠	前期	水 1	書類	
2	農産食品学	2	石川 伸一	前期	火 3	書類	
2	植物生理学	2	岩井 孝尚	前期	水 1	書類	
2	土壤肥料学	2	木村 和彦	前期	金 1	書類	
2	食農素材化学	2	須田 義人	前期	金 2	書類	
2	食用作物学	2	鳥羽 大陽	前期	月 2	書類	
2	農業経済学	2	紺屋 直樹	前期	金 4	書類	
2	発生遺伝学	2	日渡 祐二	前期	火 1	書類	
2	生物有機化学	2	柳澤 満則	前期	火 4	書類	
2	有機化学	2	菰田 俊一	前期	月 4	書類	
2	動物栄養・飼料学	2	深澤 充	前期	火 2	書類	
2	食品化学	2	毛利 哲	前期	金 2	書類	
3	食料・農業・農村政策	2	森田 明	前期	木 3	書類	
3	生産環境情報学	2	後藤 敦	前期	水 2	書類	
3	植物遺伝育種学	2	日渡 祐二	前期	金 4	書類	
3	露地園芸学	2	齊藤 秀幸	前期	火 1	書類	
3	動物遺伝育種学	2	須田 義人	前期	火 2	書類	
3	乳と卵の生産科学	2	森本 素子	前期	火 3	書類	
3	栄養科学	2	白川 愛子	前期	木 2	書類	
3	ローカルフードシステム論	2	森田 明	前期	金 2	書類	
3	食品化学工学	2	庄子 真樹	前期	月 5	書類	
3	水産資源生態学	2	片山 亜優	前期	水 5	書類	
3	プログラミング基礎	2	原田 鉱一郎	前期	水 1	書類	
3	生物資源経済学	2	川島 滋和	前期	月 4	書類	
3	食材生産経営戦略論	2	(石井 勇人)	前期	金 2	書類	
3	環境科学	2	柳澤 満則	前期	木 4	書類	
3	食品マーケティング論	2	滝口 沙也加	前期	金 1	書類	
3	フードサービス事業運営論	2	丹治 朋子	前期	火 3	書類	
3	官能評価学	2	新任教員	前期	集中	書類	
3	食産業政策論	2	作田 竜一	前期	火 4	書類	
3	食品機能開発学	2	石川 伸一	前期	月 3	書類	
4	企業倫理	2	森田 明	前期	水 2	書類	
3	水産増殖学	2	三上 浩司	前期	月 2	書類	
4	ライフステージ栄養学	2	(西川 正純)	前期	火 3	書類	
4	食産業・政策史	2	森田 明	前期	金 3	書類	
2・3	微生物学	2	笠原 紳	前期	金 3	書類	
2・3	食品衛生学	2	菰田 俊一	前期	金 1	書類	
3	生理学	2	森本 素子	前期	月 1	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
<b>食産業学群（専門科目）</b>							
1	フードマネジメント概論	2	金内 誠	後期	金 2	書類	
2	食品マーケティング基礎	2	滝口 沙也加	後期	火 1	書類	
2	地域食産業論	2	森田 明	後期	金 4	書類	
2	経済数学	2	川島 滋和	後期	月 3	書類	
2	植物保護学	2	中村 茂雄	後期	火 2	書類	
2	施設園芸学	2	菊地 郁	後期	金 3	書類	
2	肉の生産科学	2	須田 義人	後期	金 2	書類	
2	アグリビジネス論	2	紺屋 直樹	後期	木 2	書類	
2	応用統計学	2	須田 義人	後期	火 3	書類	
2	水棲動物学	2	片山 垣優	後期	金 5 (指定日)	書類	
2	水棲植物学	2	三上 浩司	後期	金 1	書類	
2	分子生物学	2	森本 素子	後期	月 5	書類	
2	食品貯蔵・流通技術論	2	毛利 哲	後期	木 1	書類	
2	食品工学	2	庄子 真樹	後期	木 3	書類	
2	調理科学	2	石川 伸一	後期	火 3	書類	
2	食材生産経営学	2	川島 滋和	後期	月 2	書類	
2	アグロテクノロジー	2	伊吹 竜太	後期	月 1	書類	
2	フードサービス産業論	2	丹治 朋子	後期	水 2	書類	
2・3	水産食品学	2	毛利 哲	後期	月 2	書類	
2・3	食品流通論	2	緩鹿 泰子	後期	金 3	書類	
3	付加価値食材生産法	2	中村 茂雄	後期	金 1	書類	
3	暮らしと作物	2	中村 聰	後期	木 1	書類	
3	フードコミュニケーション	2	作田 竜一	後期	木 3	書類	
3	食品の安全性管理	2	(西川 正純)	後期	木 2	書類	
3	発酵食品・醸造学	2	金内 誠	後期	金 3	書類	
3	グローバルフードシステム論	2	森田 明	後期	金 2	書類	
3	動物生産管理学	2	深澤 充	後期	月 3	書類	
3	現代食農ビジネス論	2	(石井 勇人)	後期	火 1	書類	
3	環境微生物工学	2	柳澤 満則	後期	金 2	書類	
3	食品情報科学論	2	緩鹿 泰子	後期	月 3	書類	
4	食と未来	2	毛利 哲	後期	木 5	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
<b>大学院 食産業学研究科（前期課程）</b>							
1	食産業学研究特論	2	石川 伸一	前期	木 1	面接	
1・2	栄養機能科学特論	2	森本素子	前期	月 3	面接	
1・2	食産業政策特論	2	森田明	前期	火 3	面接	
1・2	データサイエンス特論	2	須田義人	後期	火 4	面接	

※開講曜日・時間帯については令和8年1月現在調整中です。変更になる可能性もありますので、事前に宮城大学事務局教務課教務グループ宛てお問合せください。

【宮城大学事務局教務課教務グループ】

Tel : 022-377-8364

E-mail : kyoumu@myu.ac.jp

## 宮 城 大 学

<http://www.myu.ac.jp/>

<p>◆大和キャンパス 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1</p>	<p>◎看護学群 看護学類 ◎事業構想学群 事業プランニング学類 地域創生学類 価値創造デザイン学類 ○看護学研究科 ○事業構想学研究科</p>
<p>◆太白キャンパス 〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立2-2-1</p>	<p>◎食産業学群 生物生産学類 フードマネジメント学類 ○食産業学研究科</p>